



森の国際映画祭 withキネコ国際映画祭 2024年7月27日(土)

現在、二子玉川を舞台に開催されているキネコ国際映画祭は、30年の歴史をもつ、日本でも最大級の映画祭です。なかなか国内では目にする機会のない世界の優れた作品を、一人でも多くの子どもたちに届ける取り組みを始められています。

今回はそのキネコ国際映画祭の良質な映画プログラムと、藤野を舞台として撮影した映画「藍色少年少女」の上映等を合わせて、森の国際映画祭として、藤野芸術の家を舞台に開催します。子どもたちの学びや成長に繋がる作品をご覧くださいと思います。

スケジュール

- 13:00- 第1部 開場
- 13:30-14:35 第1部 キネコ国際映画祭プログラム
- 14:45- 第2部 開場
- 15:10-17:25 第2部 藤野映画プログラム
藤野出身作家のアニメーション「520」
映画「藍色少年少女」
- 17:30-17:50 アフタートーク
- 17:50-18:15 お楽しみライブ

○各回完全入替制 ※2歳以下はしご上鑑賞可
○全席自由席

お申し込み

info@morilab-fujino.jpに「7/27参加希望」として、お名前・携帯番号をご連絡いただくか、QRコードのフォームからお申し込みください。



場所：藤野芸術の家

相模原市緑区牧野4819

無料

吹き替えライブあり!

あなたも声優体験を!

キネコ国際映画祭でも定番となっている、その場で外国語の作品を日本語に吹き替える "ライブ・シネマ"を支える子ども声優(8歳-12歳まで)を募集します。第1部演目「にがいチョコレート」の作品の声優を体験しませんか。当日午前中の稽古を実施します。

【声優応募方法】

送付先：info@morilab-fujino.jp

タイトルに「声優希望」と明記ください。詳しい情報は後日ご案内いたします。

【締切】7月10日送信完了

【集合場所】藤野芸術の家 受付(9:15-)

【募集人数】5-7人

※バスでお越しの場合は、藤野駅13:12発 芸術の家行き。お帰りの際は、芸術の家17:37発、18:26発藤野駅行きがごございます。駐車場有。

主催：森の国際映画祭実行委員会

共催：一般社団法人キネコ・フィルム、森ラボ・映画プロジェクト

協力：ふじのキッズシアター



申し込み
問合せ先

【森ラボ】
info@morilab-fujino.jp



詳細は森ラボ公式HPへ
公式HP：<https://morilab-fujino.jp>



上演作品



第1部 キネコ国際映画祭プログラム 開場：13:00 開演：13:30（上演時間：約1時間）



©E.D. FILMS

カエデ、マツ、モクレン 【カナダ/5min】

森に暮らすカエデ、マツ、モクレンの木。季節が変わると、彼らも姿を変え、お互いの違いに気付き始める。



© 2022 Daud Budi Surya Nugraha (Aniwayang Studio)

キュウリの村〜キュウリぎらい〜 【インドネシア/7min】

キュウリ村で暮らす三匹のマメジカ姉弟。
弟・チ口のキュウリ嫌いを克服する方法は見つかるかな？



© Scott Newton

ろうそくの光 【イギリス/7min】

恋に落ちた2つのキャンドルは、お互いの炎が触れ合うと、その熱で急速に溶けてしまうことに気づく。



© Film Positive Productions

にがいチョコレート 【ハンガリー/8min】

肉屋の窓ガラスを割ってしまい、罪悪感に苛まれる少年は、自分の罪を告白することができるのか…。

子ども声優吹き替え作品



© Meridian Broadcasting MCMXCV

テディとアニー 【イギリス/25min】

季節はクリスマス。新しいおもちゃがやってきて、ご主人に捨てられてしまったクマのぬいぐるみテディと人形アニー。2人を大切にしてくれる新しいご主人探しの旅が始まる。



※ 「ろうそくの光・にがいチョコレート」以外の作品は「KLA's (キネコ・ライブ・アクターズ)」メンバーが吹き替えを行います。

第2部 藤野映画プログラム 開場：14:45 開演：15:10



©2023 Ikebe

520 【日本/5min】

想いを寄せる男友達にチョコレートを渡せない柚希。こども向けの飴を我慢する悠斗。年頃の娘の誘いを真っ直ぐに受け取れない伸行。素直になれない彼らの小さなプライドは、くだらない意地によって絡み合っていく。

(TAAF2024 コンペティション部門 学生賞、25th Digicon6 ASIA、TBSアニメーション賞、他多数受賞)

監督：池辺 凜 Rin Ikebe

2000年生まれ。小学校、中学校、高校とシュタイナー学園で学ぶ。幼い頃に見たジブリアニメーションに影響を受け、2019年に東京造形大学アニメーション専攻領域に入学。現在、アニメーション制作会社に在籍。



藍色少年少女（上演時間：約130分）

「あなたが取り戻したいことは何ですか？」

少年テツオは、福島から保養にきた少女シチカに出逢う。
あの日止まったままの鼓動（とき）が動き出す。
いのちの出会いと別れを繰り返し、少年少女はひと夏を懸命に駆け抜ける。
幸せの青い鳥を探してー

藤野を舞台に「子どもから大人へのメッセージ」を、実話を背景に鮮烈に描き出し、子どもたちの演技もあるがままで素晴らしい魂を揺さぶる感動の作品。

(ふじのキッズシアター製作 倉田健次監督)
キネコ国際映画祭上映作品

© 藍色少年少女製作委員会